

# 南海トラフの巨大地震に関する新想定 についての住民意識調査

群馬大学大学院理工学府  
金井 昌信

## I 基礎集計結果

### ■ 調査目的

- ・東日本大震災の発生が、南海トラフの巨大地震に関する新想定によって甚大な被害が想定された太平洋沿岸住民に与えた影響の経年変化を把握する
- ・また、平成24年8月に内閣府より発表された『南海トラフの巨大地震に関する新想定』、平成25年3月から運用が開始された『新しい津波警報』、平成25年8月から運用が開始された『特別警報』の把握状況やそれを確認したことにより影響を把握することにより、今後の津波避難を促進するための災害情報・防災情報を検討するための基礎的知見を得る

### ■ 調査概要

	【調査1】直後	【調査2】1年後	【調査3】2年後	【調査4】3年後
調査実施時期	平成23年 4月11日～14日	平成24年 3月16日～19日	平成25年 3月12日～14日	平成26年 3月14日～17日
調査実施方法	インターネット調査会社（楽天リサーチ）を通じて、以下の調査対象地域（津波予報区の市町村）に居住するモニターを対象に実施			
調査対象地域 (津波予報区)	津波予報区を以下の4地域に分類し、それぞれの地域に含まれる市町村に居住する住民 地域1「静岡県、愛知県外海」 地域2「伊勢・三河湾」 地域3「三重県南部、和歌山県」 地域4「徳島県、高知県」			
調査対象者数	2,000人×4地域	1,000人×4地域	1,000人×4地域	1,000人×4地域
調査項目	1.震災以前の意識 2.震災直後の意識	1.震災以前の意識 2.震災直後の意識 3.震災前後における 備えの変化 4.調査時点の意識	1.震災以前の意識 2.震災直後の意識 3.震災前後における 備えの変化 4.調査時点の意識 5.新想定に対する意識 6.新しい津波警報に 対する意識	1.震災以前の意識 2.震災直後の意識 3.震災前後における 備えの変化 4.調査時点の意識 5.新想定に対する意識 6.新しい津波警報に 対する意識

### ■ 分析内容

- I 基礎集計結果
- II 地域別基礎集計結果
- III 性別基礎集計結果
- IV 年齢別基礎集計結果

# I 基礎集計結果

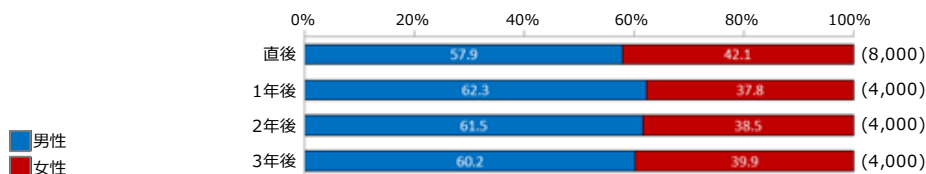
## 1. 個人属性

「調査対象」

### (1) 都道府県



### (2) 性別



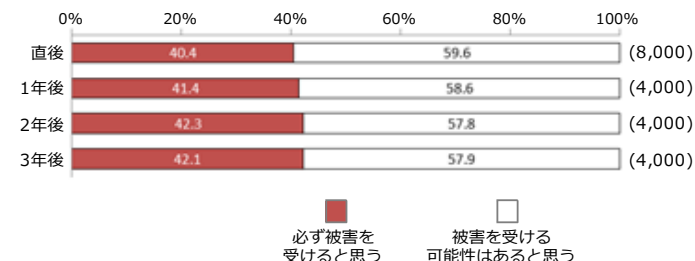
### (3) 年齢



# I 基礎集計結果

## 2. 居住地域

(1) あなたのお住まいの地域に、この度のような巨大津波が襲来した場合、あなたのご自宅は被害を受ける可能性があると思いますか。



■ 必ず被害を受けると思う  
□ 被害を受ける可能性はあると思う

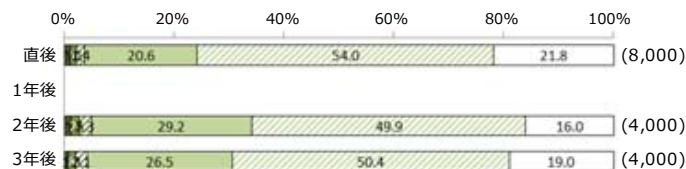
# I 基礎集計結果

## 3. 最近の津波避難実態

「津波襲来時における様子」

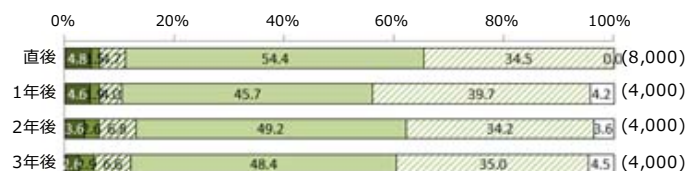
### 【平成22年3月1日 チリ地震津波】

南米チリ沖を震源とする地震の発生に伴い、太平洋沿岸の広い地域に津波警報・注意報が発表された



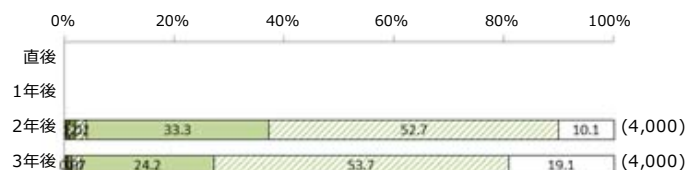
### 【平成23年3月11日 東北地方太平洋沖地震津波】

太平洋沿岸全域に大津波警報・津波警報が発表され、東北や関東では甚大な被害となった（東日本大震災）



### 【平成25年2月7日 ソロモン諸島沖地震】

オーストラリアの北東に位置するソロモン諸島沖で発生した地震の発生に伴い、太平洋沿岸の広い範囲に津波注意報が発表された



- 津波からの被害を逃れるために指定避難場所や高台などに避難した
- TVなどで津波に関する情報に注意していた
- 津波のことを意識して外出した
- 特に津波の襲来に備えた行動はとらず普段通りの生活をした
- 津波の襲来に備えて何らかの対応をとっていた
- 覚えていない・忘れてしまった

# I 基礎集計結果

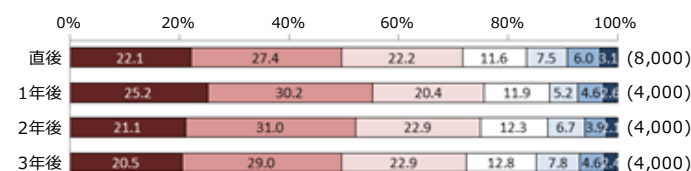
## 4. 震災前後の意識

### A) 東日本大震災の【発生以前】

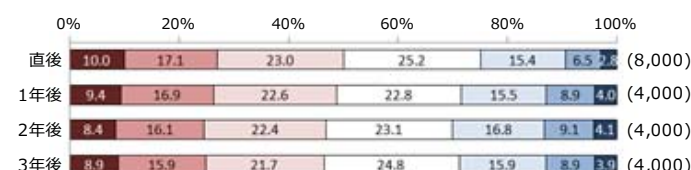
(1) 正直なところ、災害に対して危機意識を持っていたり、具体的に何か備えたりなどは、ほとんどしていなかった



(2) たとえ、国が想定している災害（今回の地震や、東海地震、首都直下型地震など）が発生したとしても、これほど大きな被害が生じるとは思っていなかった



(3) 相手は自然なので、この度の大震災のように、国の想定よりも大きな災害が発生し、甚大な被害も生じ得ると思っていた



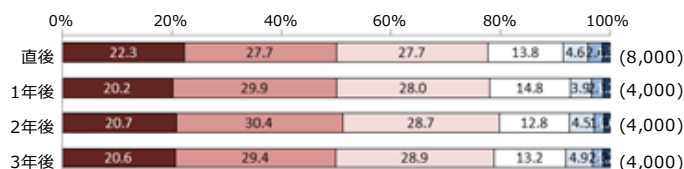
- とてもあてはまる
- あてはまる
- どちらかというにあてはまる
- どちらともいえない
- どちらかというにあてはまらない
- あてはまらない
- まったくあてはまらない

# I 基礎集計結果

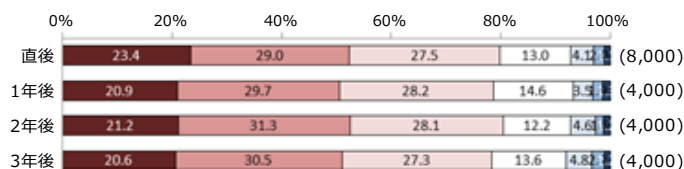
## 4. 震災前後の意識

### B) 東日本大震災の【発生直後】

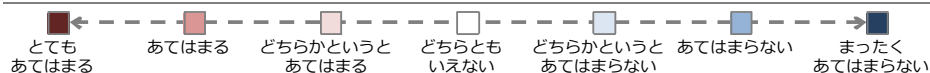
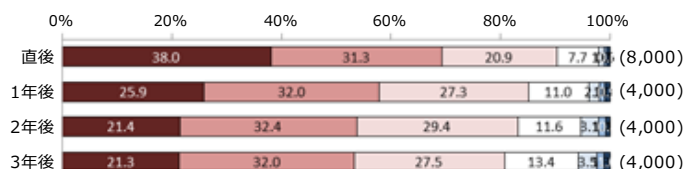
(4) この度の震災の様子を見て、あなたご自身がこれまでに行っていた  
“水や食料の備蓄”などの、物質的な備えは不十分ではないかと不安思った



(5) この度の震災の様子を見て、あなたご自身がこれまでに行っていた  
“家族との安否確認方法や避難場所の確認”などの、平常時の取り決めは不十分ではないかと不安思った



(6) この度の震災の様子を見て、今後、発生が予想される災害（南海トラフの巨大地震など）に対して、  
危機意識を持って、もっとしっかり備えておこうと思った

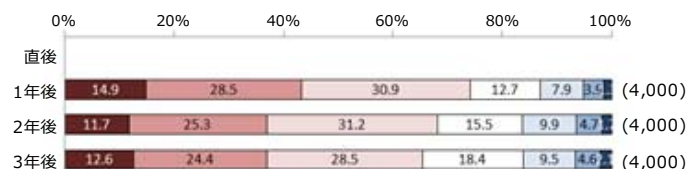


# I 基礎集計結果

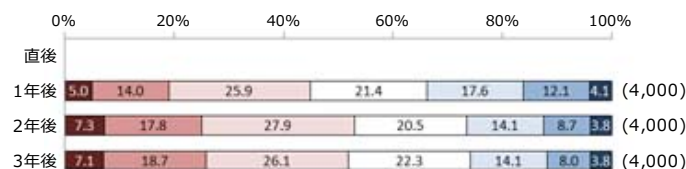
## 4. 震災前後の意識

### C) 調査時点【現在】

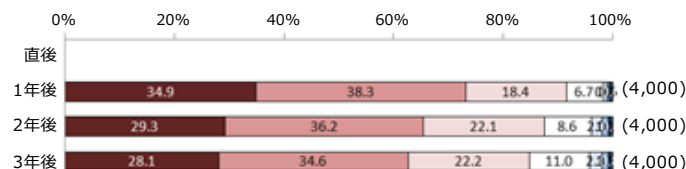
(7) この度の震災以後、災害の発生に備えた具体的な行動を十分にはおこなえていない



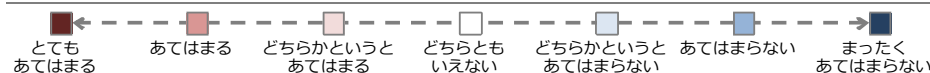
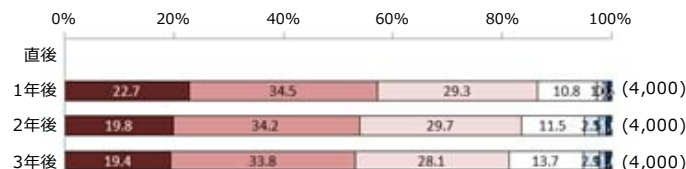
(8) 震災発生直後と比較すると、災害に対する危機意識はうすれてきてしまっている



(9) 今後も、この度の大地震のように、国の想定よりも大きな災害が発生し、  
甚大な被害が生じ得ることもあると思う



(10) 今後、発生が予想される災害（南海トラフの巨大地震など）に対して、  
危機意識を持って、もっとしっかり備えておこうと思う

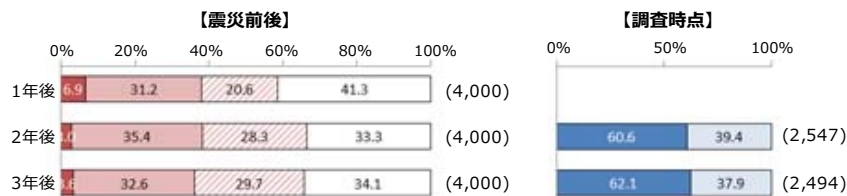


# I 基礎集計結果

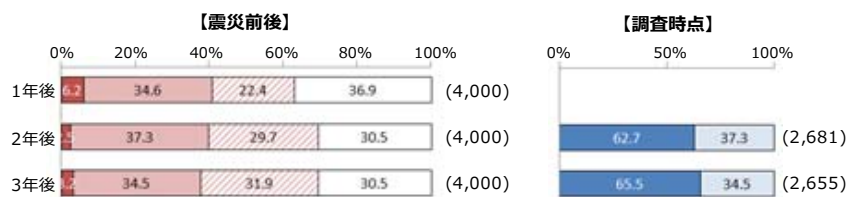
## 5. 震災前後における備えの実施状況

「災害に備えておこなった行動」

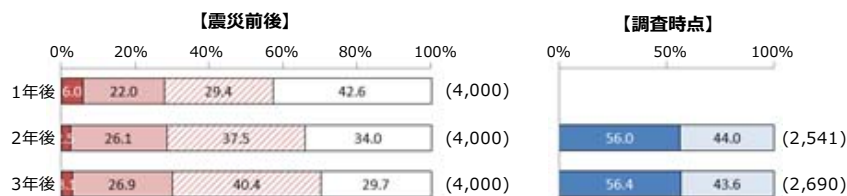
### (1) 非常持ち出し品の用意（備え）



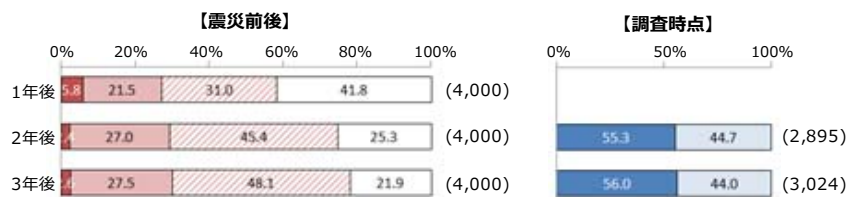
### (2) 水や食料などの備蓄品の用意（備え）



### (3) 自宅の標高の確認



### (4) ハザードマップなどを見て、津波によって浸水する可能性がある地域の確認



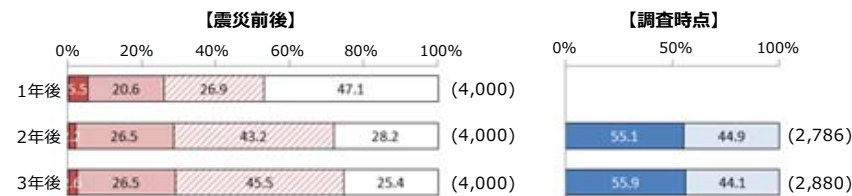
■ 震災前はおこなっていたが震災後はおこなっていない  
■ 震災前からおこなっており震災後も再度おこなった  
■ 震災前はおこなっていなかったが震災後におこなった  
■ 震災前も震災後もおこなっていない

# I 基礎集計結果

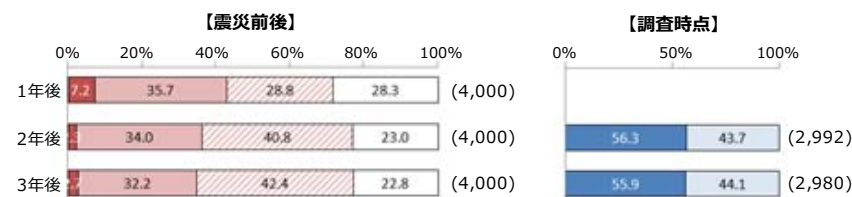
## 5. 震災前後における備えの実施状況

「災害に備えておこなった行動」

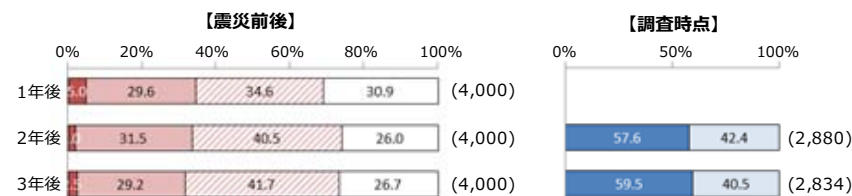
### (5) ハザードマップなどを見て、地震・津波以外の災害（洪水や土砂災害）の危険性の確認



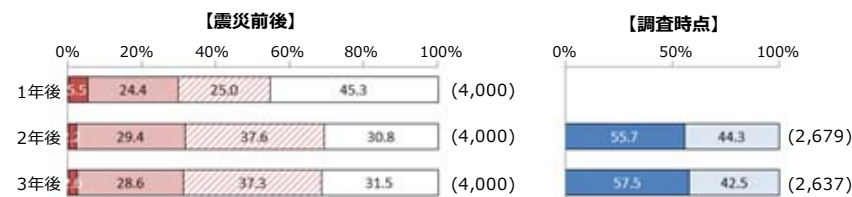
### (6) 行政が指定している避難場所の確認



### (7) 行政が指定している避難場所以外で、自分なりに避難場所の検討



### (8) 避難場所までの避難経路を地図などで確認



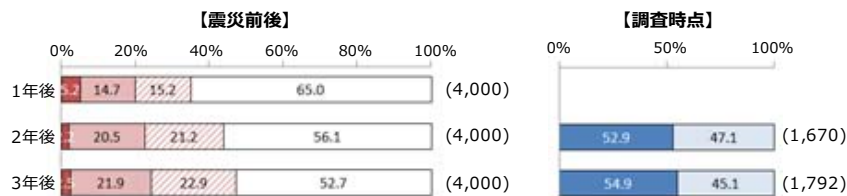
■ 震災前はおこなっていたが震災後はおこなっていない  
■ 震災前からおこなっており震災後も再度おこなった  
■ 震災前はおこなっていなかったが震災後におこなった  
■ 震災前も震災後もおこなっていない

# I 基礎集計結果

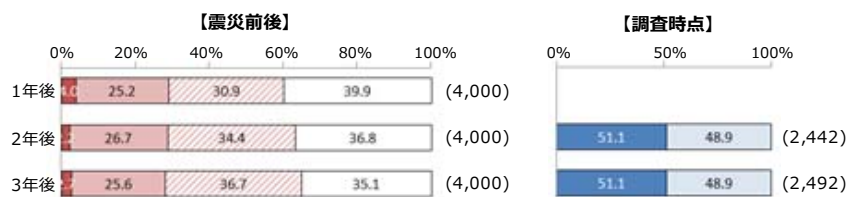
## 5. 震災前後における備えの実施状況

「災害に備えておこなった行動」

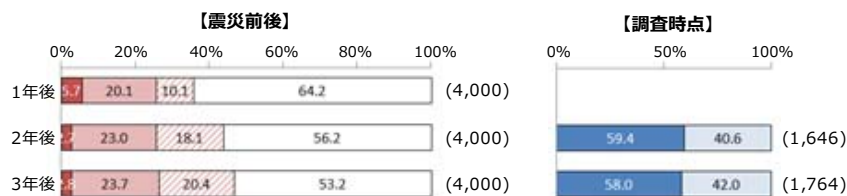
### (9) 避難場所までの避難経路を実際に歩いて確認



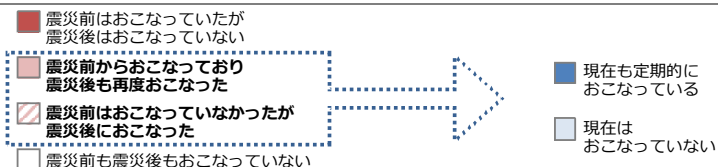
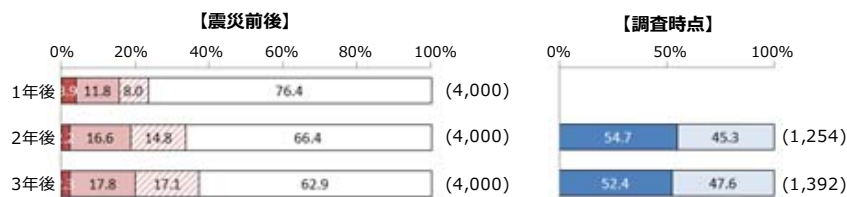
### (10) 家族で、いざというときの避難方法や連絡方法の相談



### (11) 防災訓練・避難訓練への参加



### (12) その他、行政が主催する防災講演会や防災に関する取り組みへの参加

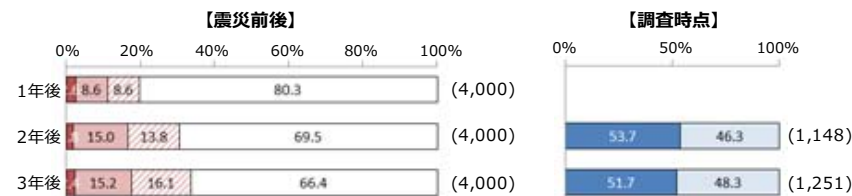


# I 基礎集計結果

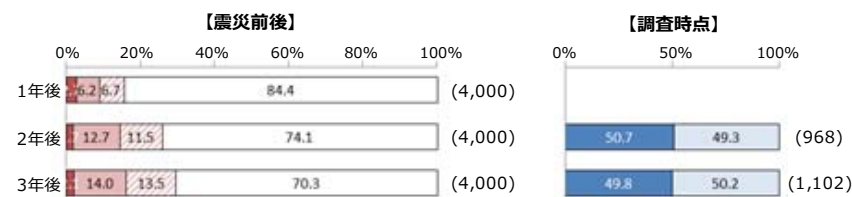
## 5. 震災前後における備えの実施状況

「災害に備えておこなった行動」

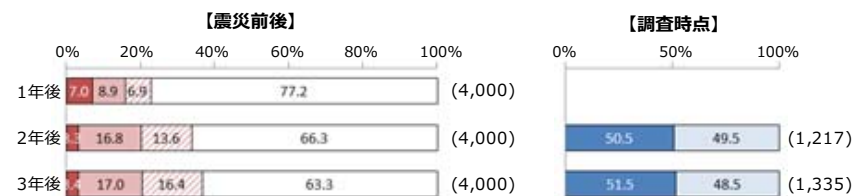
### (13) 地域コミュニティで、避難場所や避難方法などの相談



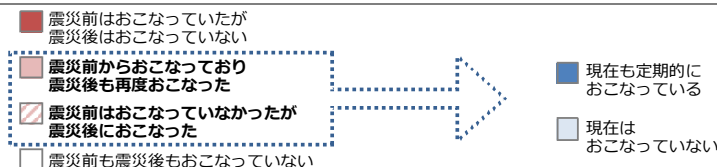
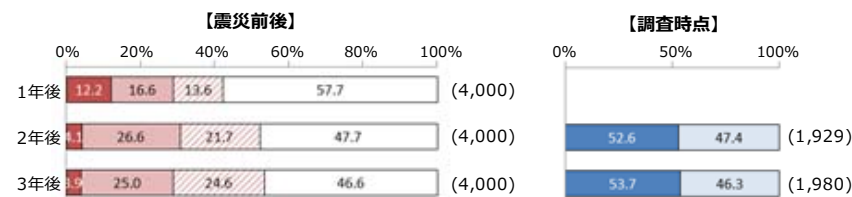
### (14) 地域コミュニティで、一人で避難することが困難な方への支援方法の相談



### (15) 大きなゆれによる家屋倒壊に備えた自宅の耐震補強



### (16) 大きなゆれによる家財の転倒に備えた自宅の家財道具の固定



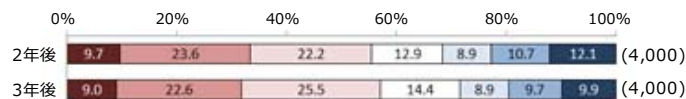


# I 基礎集計結果

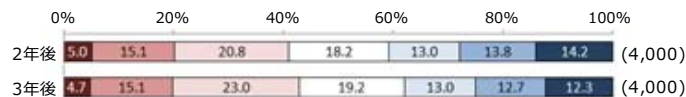
## 6. 新想定（平成24年3月31日発表）に対する意識

### A) 新想定【公表直後】

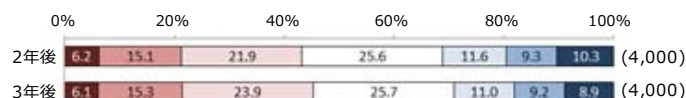
(1) “新想定”が発表された後、自分の住む地域で想定されている津波の高さをちゃんと確認した



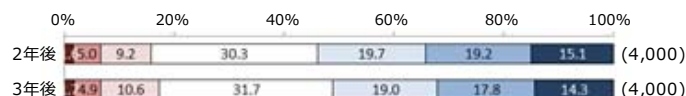
(2) “新想定”が発表された後、避難場所の確認や避難方法を家族と相談するなど、津波への具体的な備えをおこなった



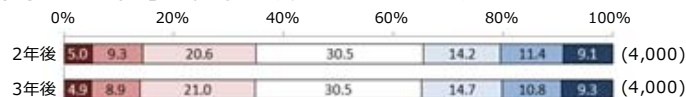
(3) “新想定”が発表された後、「次に襲来する津波は、この高さのものが必ずくるんだ」と思った



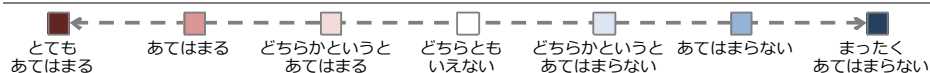
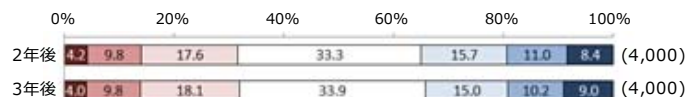
(4) “新想定”の内容を見て、自分の住む地域で想定されている津波の高さは、「大きすぎた」と思った



(5) “新想定”の内容を見て、「備えなければ」という気持ちよりも、「これだけ大きな津波では何も対応できない」とあきらめる気持ちの方が大きかった



(6) “新想定”の内容を見ても、それ以前と比べて特に気持ちの変化はなかった

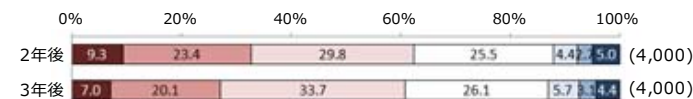


# I 基礎集計結果

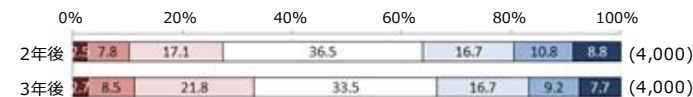
## 6. 新想定（平成24年3月31日発表）に対する意識

### B) 調査時点【現在】

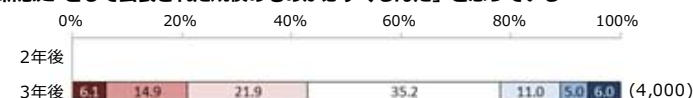
(7) “新想定”が公表されたことによって、日頃から災害に備えたり、いざというときに避難する人は増えるのではないかと思う



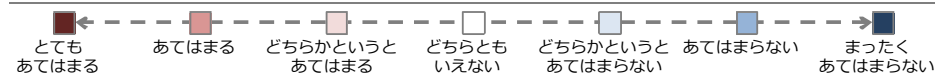
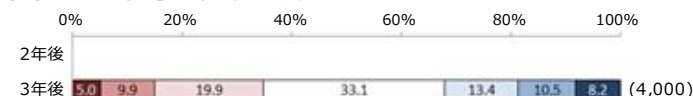
(8) 正直なところ、“新想定”が公表された直後と比較すると、現在では、新たに想定された津波の高さをあまり気にしなくなっている



(9) 現時点においても、「次に襲来する津波は、“新想定”として公表された規模のものが必ずくるんだ」と思っている



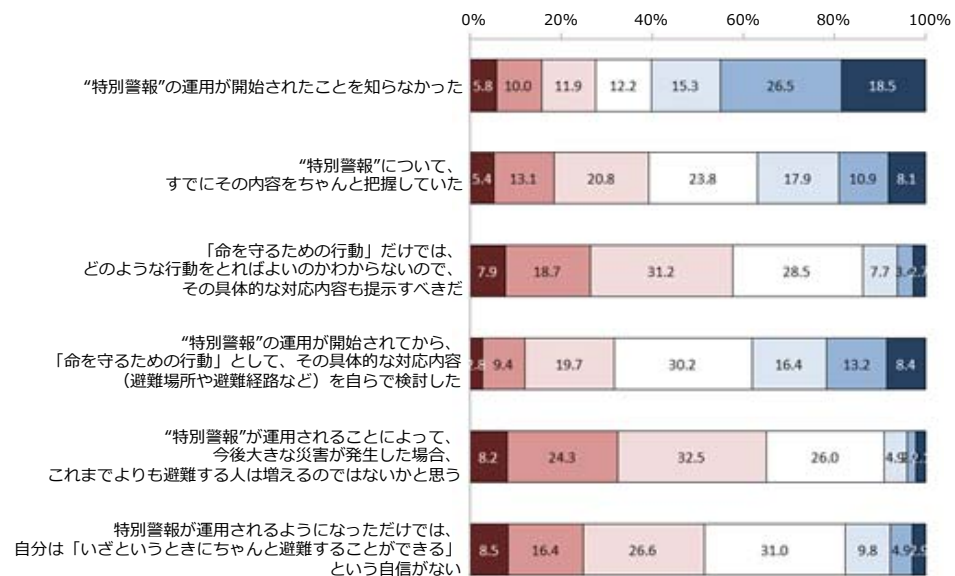
(10) 現時点においても、“新想定”の内容を見ると、「備えなければ」という気持ちよりも、「これだけ大きな津波では何も対応できない」とあきらめる気持ちの方が大きい



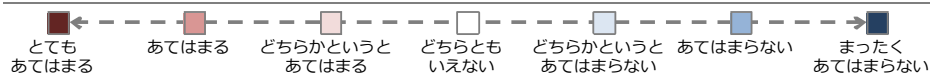
# I 基礎集計結果

## 7. 特別警報（平成25年8月運用開始）に対する意識

「特別警報」に対する考えについて



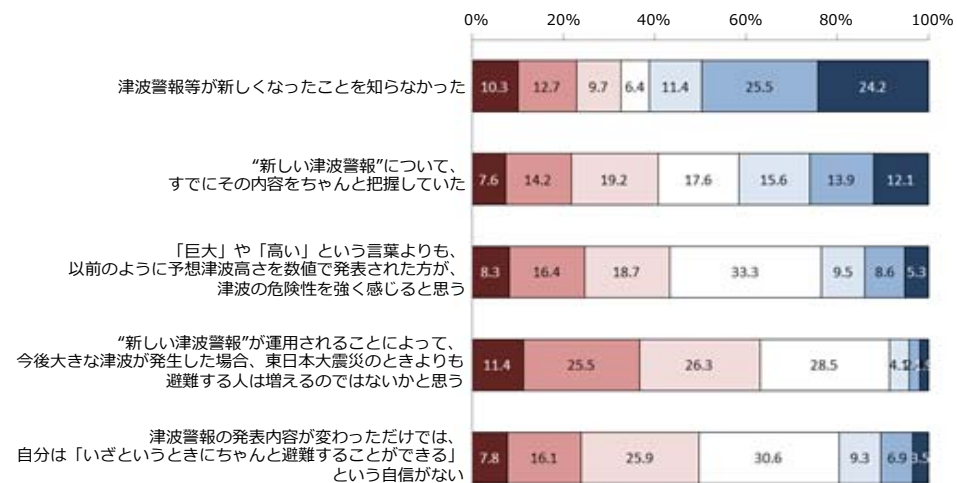
(4,000)



# I 基礎集計結果

## 8. 新しい津波警報（平成25年3月運用開始）に対する意識

「新しい津波警報」に対する考えについて



(4,000)

